

MD050_SPF_COS_004 消化計算	説明: 消化VD:預り金支店手渡し(締め日毎)の商品別売上を算出します。	作成日	2008/06/09	作成者	ORACLE 小林	更新日	2009/03/13	更新者	SCS 富田	Ver.	Issue3.0
------------------------	--------------------------------------	-----	------------	-----	--------------	-----	------------	-----	--------	------	----------

#### 処理概要

VDコラム別取引の内容と、ARで入力した売上金額から消化計算用掛率を算出し、商品別の売上金額を算出します。計算結果は販売実績アドオンテーブルに登録します。

#### システム利用者

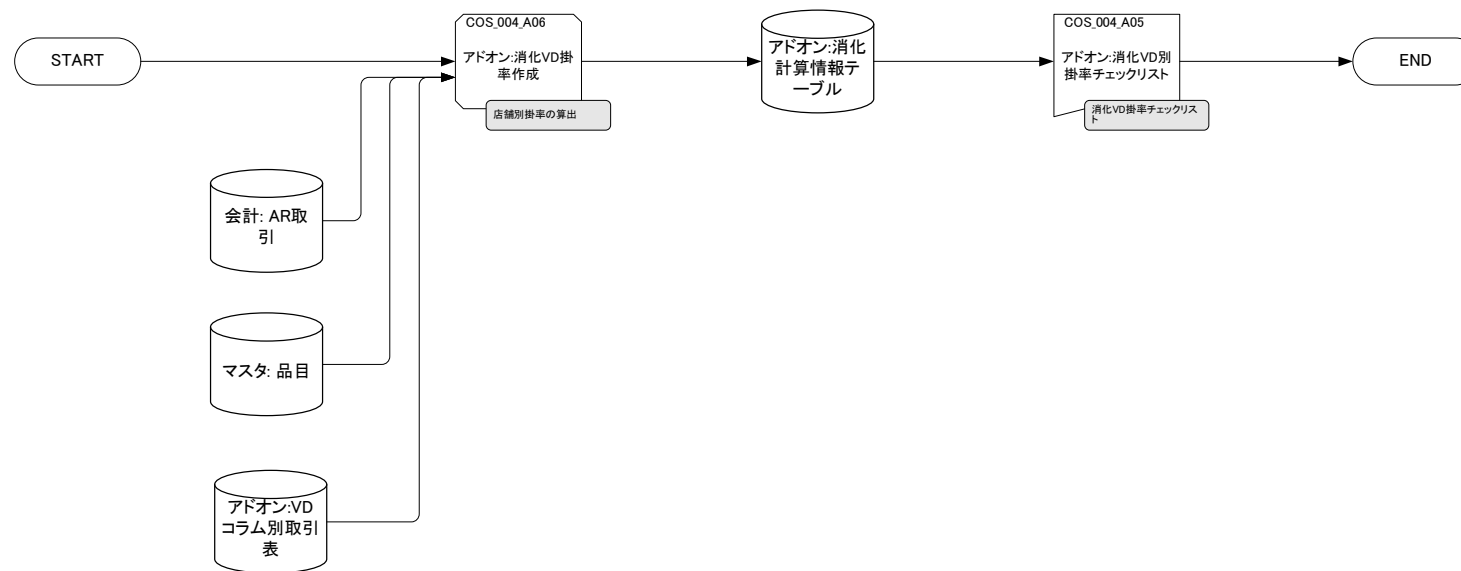
拠点 内務担当者

#### 処理タイミング、その他

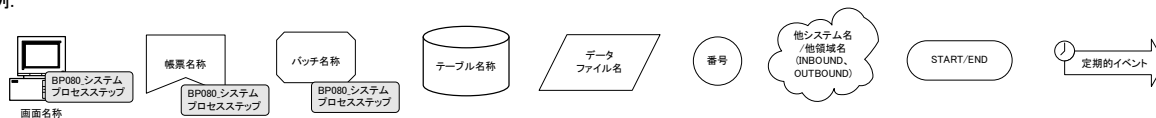
月次随時

#### システムプロセスフロー記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_COS_004 消化計算	説明: 消化VD:預り金支店手渡し(締め日毎)の商品別売上を算出します。	作成日	2008/06/09	作成者	ORACLE 小林	更新日	2009/03/13	更新者	SCS 富田	Ver.	Issue3.0
------------------------	--------------------------------------	-----	------------	-----	--------------	-----	------------	-----	--------	------	----------

#### 処理概要

VDコラム別取引の内容と、ARで入力した売上金額から消化計算用掛率を算出し、商品別の売上金額を算出します。計算結果は販売実績アドオンテーブルに登録します。

#### システム利用者

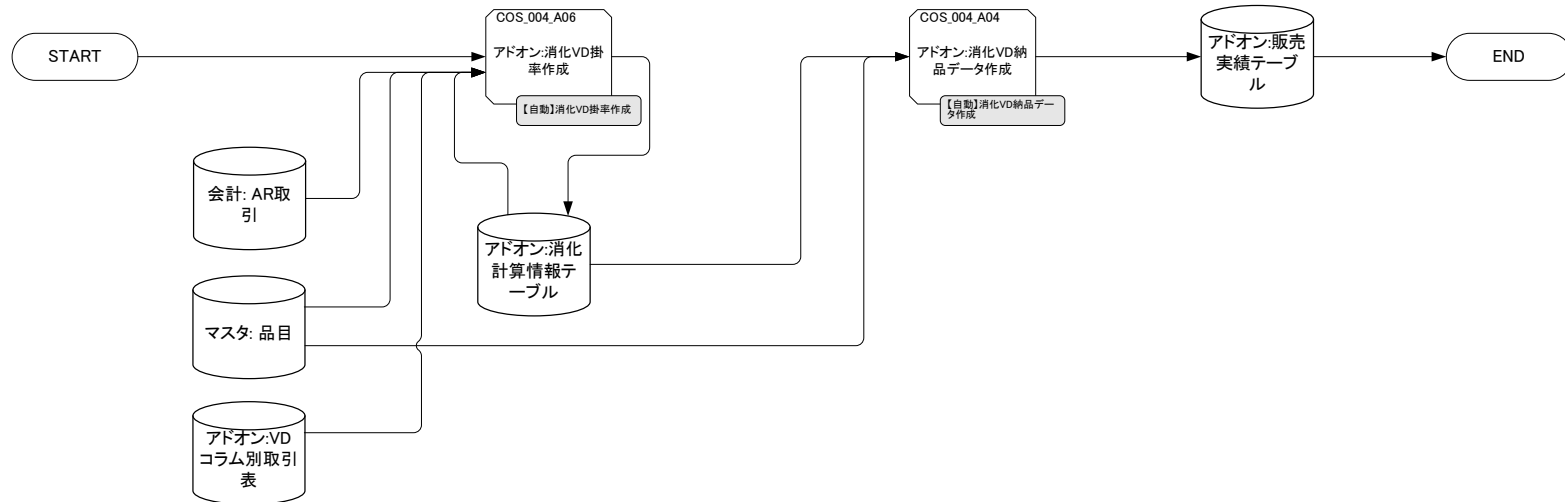
システム管理者(自動起動)

#### 処理タイミング、その他

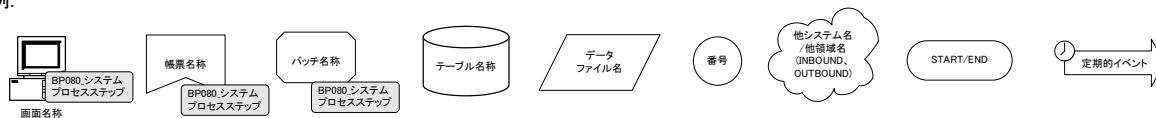
月次夜間バッチ

#### システムプロセスフロー記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_COS_004 消化計算	説明: 専門店、百貨店での商品別売上を算出します。	作成日	2008/06/09	作成者	ORACLE 小林	更新日	2009/03/13	更新者	SCS 富田	Ver.	Issue3.0
------------------------	---------------------------	-----	------------	-----	--------------	-----	------------	-----	--------	------	----------

#### 処理概要

専門店、百貨店での商品別売上を算出します。  
ARの店舗別売上金額とINV棚卸データ、品目マスタの標準小売価格を基に店舗別の掛率を算出し、商品別売上金額の計算結果を販売実績テーブルに登録します。

#### システム利用者

専門店課 内務担当者、百貨店課 内務担当者

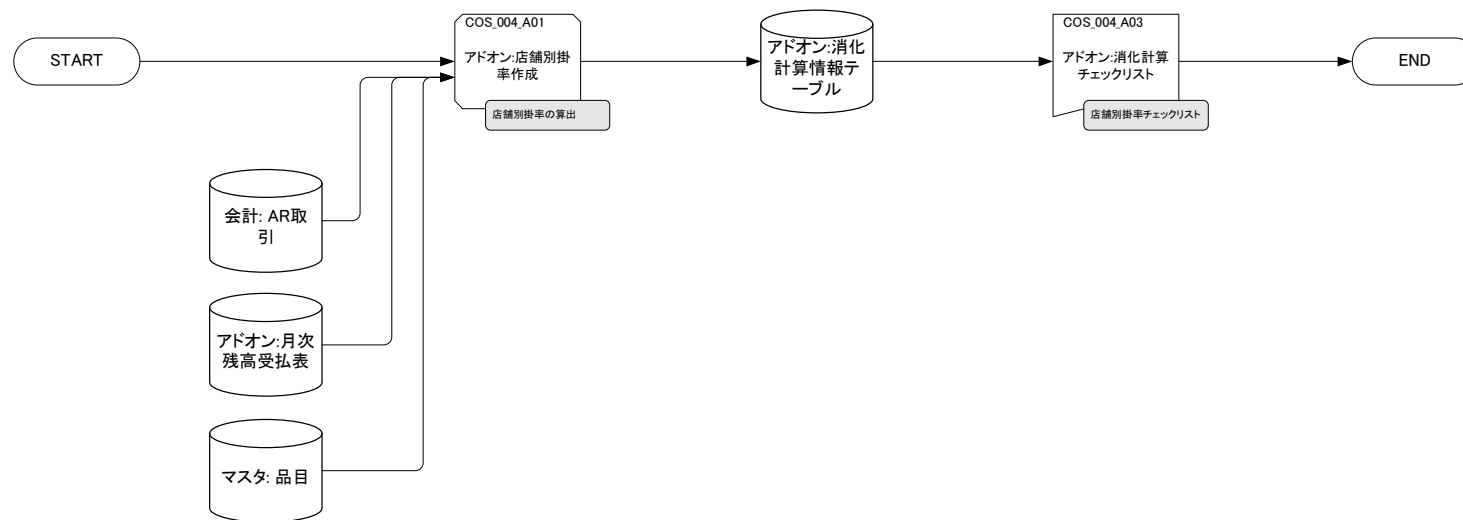
#### 処理タイミング、その他

店舗別掛率作成: ①月次締め処理として随時実行される場合と、②月次夜間バッチとして掛率未計算の店舗すべてを対象として実行される場合がある。

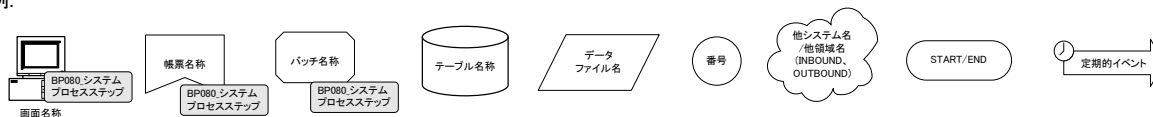
店舗別掛率チェックリスト: 月次随時

#### システムプロセスフロー記入時の注意事項

- 機能単位(標準機能含む)で記入すること
- INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- 左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- 1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- 1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_COS_004 消化計算	説明: 専門店、百貨店での商品別売上を算出します。	作成日	2008/06/09	作成者	ORACLE 小林	更新日	2009/03/13	更新者	SCS 富田	Ver.	Issue3.0
------------------------	---------------------------	-----	------------	-----	--------------	-----	------------	-----	--------	------	----------

#### 処理概要

専門店、百貨店での商品別売上を算出します。  
ARの店舗別売上金額とINV棚卸データ、品目マスタの標準小売価格を基に店舗別の掛率を算出し、商品別売上金額の計算結果を販売実績テーブルに登録します。

#### システム利用者

システム管理者(自動起動)

#### 処理タイミング、その他

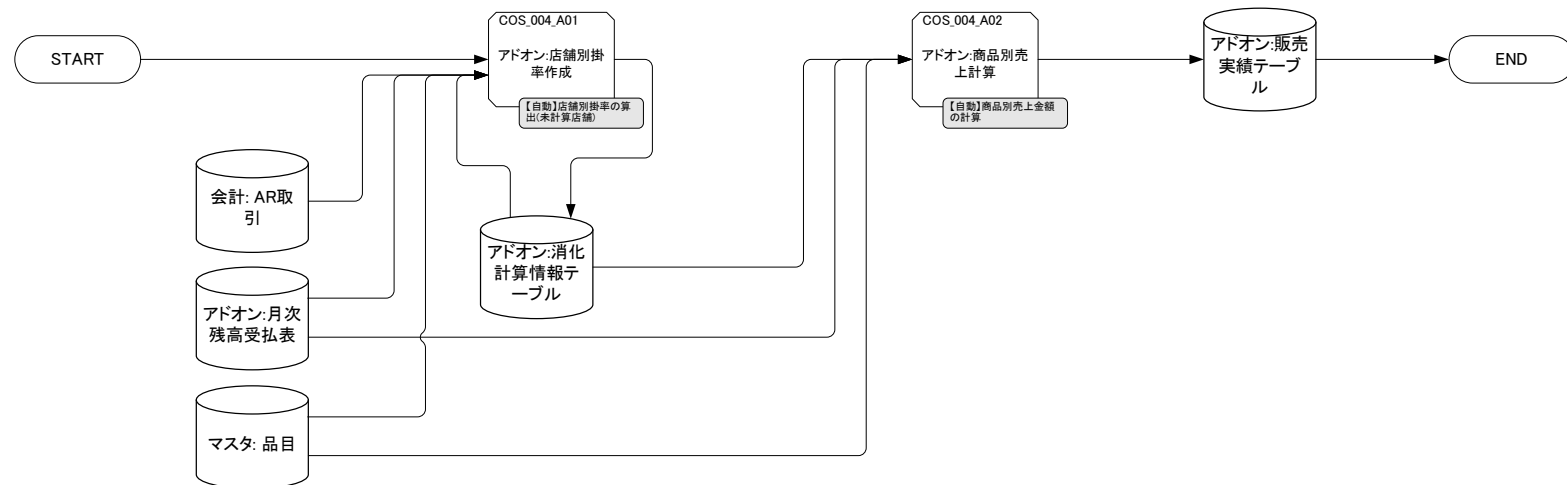
店舗別掛率作成: ①月次締め処理として随時実行される場合と、②月次夜間バッチとして掛率未計算の

店舗すべてを対象として実行される場合がある。

商品売上計算: 月次夜間バッチ

#### システムプロセスフロー記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:

